

## 第 26 回日本脳神経血管内治療学会北海道地方会幹事会議事録

開催日時：2025 年 9 月 27 日（土） 08:45-09:15

場所：札幌医科大学記念ホール 会議室 A

参加者（敬称略）：

幹事：野村達史、長内俊也、荻野達也、恩田敏之、片岡丈人、川口礼雄、金相年、下田祐介、高田達郎  
原口浩一、三井宣幸、山崎貴明、和田始

監事：青樹毅

オブザーバー参加：遠藤英樹（第 25 回会長）、佐藤徹（JSNET）

### 1. 開会宣言

野村達史代表幹事より幹事の参加人数確認を行い、開会が宣言された。

### 2. JSNET からの observer 紹介

野村達史代表幹事より、佐藤徹先生が JSNET 支部連絡協議会（旧地方会整備委員会）から observer 参加していることが紹介された。

### 3 議事録署名人名指名

野村達史代表幹事より、金相年幹事と荻野達也幹事が指名された。

### 4 第 26 回学術集会について

恩田敏之大会長より、第 26 回学術集会についての説明があった。一般演題 22 演題、ランチョンセミナーに独協医科大学越谷病院の滝川知司先生、東北大学の坂田洋之先生、特別講演に昭和大学藤が丘病院の津本智幸先生を招聘、発表時間は 6 分であることが説明された。

### 5 事務局会計報告

長内俊也事務局長から事務局会計報告があり、承認を得た。

### 6 第 25 回学術集会会計報告

遠藤英樹前大会長より第 25 回学術集会の会計報告が行われ、承認を得た。

### 7 新幹事について

野村達史代表幹事から新幹事として釧路孝仁会記念病院の川口礼雄先生が推薦され、承認を得た。川口先生からご挨拶があった。

### 8 幹事の生年月の把握

長内俊也事務局長から幹事にお勤めになる期間などを把握したいので、事務局で把握したい旨を説明し、承認を得た。

### 9 JNET への推薦演題

野村達史代表幹事から JSNET 本会からの要望として、地方会で発表された演題のうち 1－3 演題を座長から推薦いただくこととし、承認を得た。推薦演題該当なしもあり得ることを確認した。

10 会費の納入率を上げるための取り組みについて

長内俊也事務局長より、JSNET 本会から、年によって会費の納入率が変わる（選挙がない年は低下）そのため、支部ごとの取り組みを検討してほしいとの要請があった。資料を提示し、他の支部よりは納入率が高いものの、十分とは言えず、支部会への交付金の額に影響するものである。そこで毎年事務局から会員にむけ、会費納入の依頼を一斉送信する。幹事には各施設・地域で周知していただきたいことを説明し、了承を得た。いつまで納入するかという質問があり、Observer の佐藤徹先生から 2 月 1 日までという補足説明があった。

11 今後の地方会の開催について

野村達史代表幹事から、ここ数年、大会長の積極的な企業への働きかけにより、学会は盛況が続いてきた。しかし、一昨年・昨年は実質的に交付金を使用せずに学会運営が行われ、その分、企業への負担が大きくなっているのが現状である。さらに、学術団体として、外部講師による特別講演を企業負担のみで賄うことは、公平性の観点からも問題視せざるを得ない。

そこで今後は、ランチョンセミナーについては企業 1 社にお願いし、特別講演は交付金および地方会の予算で賄う形を検討してはどうだろうかという提案があった。

高田達郎幹事からコロナ後にハイブリッド開催により、学会開催費用が 1.5 倍にはなっているため、ハイブリッドをやめるのであれば元に戻せるが、ハイブリッドを続けるのであれば少し考えた方がよいという意見があった。

それに対しては、(ハイブリッド開催としても) JSNET からの交付金で賄える範囲であれば、特別講演 1 演題は自前で開催可能であるので、ランチョンを企業、特別講演を自前でできるのではという結論となった。

12 次期大会について

下田祐介幹事から次回の開催について 2026 年 9 月 5 日（土）、北大のフラテを予定しており、特別講演は兵庫医科大学の吉村紳一先生を予定していると報告された。この日程に異論なく、決定した。

12 次次期大会長について

野村達史代表幹事より次々期学術集会会長について、三井宣幸幹事が推薦され承認を得た。

13 その他の議題を求めるが、特に議題の提案はなかった。

以上の議事のてん末を記録し、これを証するため署名する。

令和 7 年 10 月 2 日  
・ 年 10 月 9 日  
令和 7 年 10 月 14 日

議長

議事録署名人

議事録署名人

野村 達史  
萩野 達也  
金 和年